

健康長寿に係る先進的な取組事例

上里町

がん検診スタンプラリー

(1) 取組の概要

上里町が実施するがん検診や職場で実施するがん検診等を受診するごとにスタンプを押印し、対象のがん検診を全て受診した方に景品を贈呈する。

(2) 取組の契機

上里町のがん検診受診者数は、平成 21 年度以降横ばいである。

“助かる命を助ける”また、“膨大な医療費削減”を大きな目標とし、がん検診受診者数の増加が現在の最重要課題となる。

そこで、本事業はがん検診を一つのイベントとして捉え、多くの方に関心を持って頂き、新規受診者の開拓を狙い、受診者数のさらなる増加を目標として実施する。

(3) 取組の内容

| | |
|------|----------------------------|
| 事業名 | いきいきスタンプラリー事業 |
| 事業開始 | 平成 25 年度 |
| 予 算 | 10 万 スタンプラリー景品購入費 10 万円 |
| 参加人数 | 約 3,000 人 |
| 期 間 | 平成 25 年 5 月～平成 26 年 3 月 |
| 実施体制 | 保健センター |

① スタンプラリーカードの作成

氏名・生年月日・電話番号を記入する欄、スタンプラリーの説明、受診済のがん検診のスタンプを押す場所を載せたカードを作成した。

② 周知用ポスターの作成

スタンプラリーを行っていることをポスターにして貼り出した。

③ スタンプラリーカードの配布

集団がん検診を受診する際に受付でスタンプラリーカードを配布し、説明している。

④ スタンプラリーの説明

集団がん検診の待ち時間に、スタンプラリーを行っていることをポスターを見せながら説明している。

⑤ 景品の交換

対象のがん検診を全て受診した方には、保健センターに来所していただき受診歴確認後スタンプラリーカードと景品を交換している。

⑥ 景品交付台帳の管理

景品を交付した数を、性別・年齢で集計して管理している。

⑦ 受診勧奨

スタンプラリーによる受診歴確認時、未受診のがん検診の受診勧奨を行っている。

(4) 取組の効果

受診者数

| | 平成 25 年度 (H25. 12. 20 現在) | 平成 24 年度 |
|---------|---------------------------|----------|
| 胃がん検診 | 811 人 | 675 人 |
| 大腸がん検診 | 1,278 人 | 1,079 人 |
| 肺がん検診 | 1,881 人 | 1,795 人 |
| 乳がん検診 | 1,045 人 | 862 人 |
| 子宮頸がん検診 | 733 人 | 1,146 人 |
| 前立腺がん検診 | 199 人 | 245 人 |

平成 24 年度と比較して、受診者数は増加している。

景品贈呈者数 (H25. 12. 20 現在)

| | 30 代 | 40 代 | 50 代 | 60 代 | 70 代 | 80 代 | 90 代～ | 計 |
|---|------|------|------|------|------|------|-------|-----|
| 男 | 0 | 1 | 4 | 26 | 31 | 6 | 0 | 68 |
| 女 | 4 | 26 | 24 | 67 | 29 | 2 | 0 | 152 |
| 計 | 4 | 27 | 28 | 93 | 60 | 8 | 0 | 220 |

(5) 成功の要因、創意工夫した点

① 上里町のがん検診を受診できない場合の対応

病院や職場で受診したまたは手術等で受診できない場合は、確認ができれば受診したものとしてスタンプを押印する。

② 景品の内容

景品に町のマスコットキャラクター「こむぎっち」のグッズを取り入れ、キャラクターの知名度アップに繋げる。

(6) 課題、今後の取組

① 周知方法について

集団がん検診を行うたびに説明を行っているが、今年度より開始した事業のため、未だ周知されていると言い難い状態である。そのため、今後いかにして伝えていくかが課題である。

② 受診情報の管理について

現在、上里町のがん検診以外で受診した場合は、口頭での確認のため、受診情報の管理方法の検討が必要である。